

OPEN!



平田村タイアッププロジェクト

9検索

Presented by 日本大学工学部 コンクリート工学研究室 地域づくり班



お問い合わせ失 日本大学工学部 コンクリート工学研究室 地域づくり班 nonwaka19@gmail.com

地域為常教育プログラム

- ・橋の名付け親プロジェクト
- ・簡易橋梁点検プロジェクト

「橋の少子高齢化」の時代を迎えます。高齢化した橋を支えていかなければなりません。小さいうちから、「自分の地域の橋はみんなで守る」という意識を根付かせることが大切です。



出典:2007年8月1日、AP/アプロ 2007年米国ミネアポリス高速 道路橋梁崩壊事故。死者9名、 行方不明者4名、負傷者100名以上。

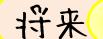




日本よりインフラの整備が早かったアメリカでは既に死亡事故に結びつく老朽化による橋の崩落事故が起きています。(上記)小学校から地域の橋について学ぶことで、社会へ目を向けるきっかけにもなります。

♥関心・愛着♥

於行動 ☆









高

橋の名付け親プロジェクト



八、

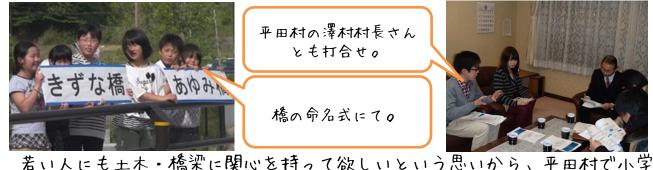
小さい子供がぬいぐるみ に名前をつけて可愛がる のと同様の自分たちで名 前を付ける事で、橋への 愛着にもつながる。

小、



子供たちが付けた橋なら 大事にしなきゃ、という 気持ちにつながるの地域 で守る意識が生まれるの

八、



平田村の澤村村長さん とも打合せる

橋の命名式にての



生を対象に始まった橋の名がけ親プロジェクトの今まで番号で呼ばれていた 番号橋に、自分で名前をつけることで橋に愛着が湧くはずです。2013年、平 田村で実施した際には、蓬田小学校には「33号橋」の名付け親に、小平小学 校には「72号橋」の名付け親になっていただき、それぞれ「きずな橋」、 「あゆみ橋」という素敵な名前を付けていただきました。橋の維持管理にか かる費用は多くなる一方で、将来、地方の市町村では自治体だけでの橋の維

持管理は難しくなることが予想されます。自分達で使う橋は、できる範囲で 自分達で守っていく体制作りが重要になってきます。少しずつ、近所にある 橋に少しでも興味・関心を持つきっかけになって欲しいと思い、橋の名付け

親を実行しました。







あゆみ橋



橋守り・点検

高齢化している橋の管理は自治体ですが、使うのは私たち住民です。普段 使っている橋を簡単に清掃したり点検したりして、自分達で橋を守っていき ませんかの橋を守ることは自分たちの命を守ることにもつながりますの 学年が上がるにつれて、安全面の配慮も自分でできるようになります。橋梁 点検チェックシートを使い、中学生は通学路の橋梁を、工業高校に進学した 高校生は課題研究のテーマとして、橋を点検します。点検は普段の橋の利用 方法から逸脱せず、橋の上からのみの点検です。2015年、平田村で住民の方 に点検して頂き、プロの点検結果と比較し、偏向を極力取り除いたチェック シートです。裏面と表面をリンクさせながら点検し、最終的にはGoogle map 上で情報を公開しますの





橋の清掃を していますの

黑川高校慣 用技術工学 科の皆さん



